

「2015年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

2. あなたが本学大学院に進学した主な理由は何ですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	現在の仕事に関して、より専門知識を身に付けるため。	5	31%
B	興味・関心のある分野の勉強がしたくなったから。	7	44%
C	資格取得のため。(税理士試験科目免除、臨床心理士試験受験資格、教員専修免許等)	2	13%
D	大学院修了という学歴がほしいから。	1	6%
E	将来に不安を感じたから。	0	0%
F	時間に余裕が出来たから。	1	6%
G	その他	0	0%

G:理由

-	-
---	---

3. あなたが本学大学院に進学するにあたり、情報をどこで得ましたか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	学部の指導教員	7	32%
B	先輩	1	5%
C	学内での説明会	1	5%
D	オープンキャンパス	0	0%
E	大学院パンフレット	7	32%
F	本学ホームページ	6	27%
G	その他	0	0%

G:具体的内容

-	-
---	---

4.あなたの研究についてお尋ねします。

①現在、あなたの行っている研究はどのようなものですか。(複数回答)

項目	内容	延べ人数	割合
A	理論的研究	3	14%
B	調査・インタビュー・実験を用いる研究	2	10%
C	二次資料・史料の収集や整理を伴う研究	5	24%
D	課題の発見に関する研究	3	14%
E	課題の解決を目指す研究	5	24%
F	実践的応用に関する研究	3	14%
G	その他	0	0%

G:具体的内容

-	-
---	---

②現時点における研究の状況はどのようになっていますか。

	当てはまる	やや当てはまる	あまり当てはまらない	全く当てはまらない
研究テーマ・内容が明確である	6 (60%)	4 (40%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の独自性(オリジナリティ)を意識しながら、研究を行っている	5 (56%)	4 (44%)	0 (0%)	0 (0%)
研究の計画が具体的に定まっている	6 (60%)	3 (30%)	1 (10%)	0 (0%)
研究を行うときには、自分自身の判断によってすすめている	3 (30%)	3 (30%)	4 (40%)	0 (0%)
他者(学内の教員、先輩)に意見をもらう機会を自分で作る	6 (60%)	3 (30%)	1 (10%)	0 (0%)
学外の研究者と交流している	1 (10%)	2 (20%)	2 (20%)	5 (50%)

「2015年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

5.今年度、大学院で開講されている授業についてお尋ねします。

①今年度、あなたは何科目履修しましたか。

	人数	割合
0科目	1	10%
1～2科目	1	10%
3～5科目	3	30%
6～10科目	1	10%
11科目以上	4	40%

②(1)その中で今後あなたが研究をすすめるにあたって、大いに役立つと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	7	70%
B	ない	1	10%
C	科目の履修はしていない	1	10%
	無回答	1	10%

②(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点が役に立つと思ったのですか。

	科目名	理由
地文M1	受講科目全て	修論執筆についての取り組み方や問題解決についての具体的なアドバイスがあるため。多領域の講義も何らかのヒントにつながることでよくあるため。
地文M1	南島先史文化特論	研究手法やモノの味方、考え方を学ぶことができるので研究に役立つ。
地文M1	臨床心理学特殊研究ⅠA 心理学研究法特論	研究テーマに関する知識が得られた。
地文M2	臨床査定演習Ⅱ	実践に役立つ視点が得られた
地文M2	南島社会学特論	自分の研究している分野と講義内容が似ているため、修士論文を書くにあたって大いに参考になった。
地産M1	地域経済計量分析特論	データの加工の仕方などを補うときにやくにやった
地産M2	比較経営特殊研究Ⅱ 沖縄経済特論Ⅱ	自身の研究活動で必要な学びができ、修士論文の執筆に役立っている。

③(1)今後あなたが研究をすすめるにあたって、何らかの改善をした方が良いと思う科目がありましたか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	ある	1	10%
B	ない	8	80%
C	科目の履修はしていない	0	0%
	無回答	1	10%

③(2)その科目名は何ですか。

(3)どのような点の改善した方が良いと思ったのですか。

	科目名	理由
地産M1	地域産業セミナー	そもそも受講する意味がほとんどなかったと感じる。やり方を変えた方がいいと思います。

6. あなたの研究に関する現在の指導体制・環境についてお尋ねします。

①現在の指導体制・環境に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	6	60%
B	満足していない	1	10%
C	どちらでもない	1	10%
	無回答	2	20%

「2015年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

②満足できない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地文M1	「指導体制」については満足していますが、「環境」については満足していません。HP上で大学院は「一般社会人・有職者の入学を積極的に推進しています。」と銘打っておいて全館23時閉館とはいかがなものかと思う。
------	---

③指導体制、方法、環境に関して、入学前に担当教員によるオリエンテーションがあった方がよいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	あった方がよい	6	60%
B	なくてもよい	0	0%
C	どちらでもよい	3	30%
	無回答	1	10%

④その他、指導体制、方法、環境に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地文M1	HP上で大学院は「一般社会人・有職者の入学を積極的に推進しています。」と銘打っておいて全館23時閉館とはいかがなものかと思う。
地産M2	地域産業研究科のマーケティングコースは、現在1名の指導教員しかいません。できれば、複数(少なくとも2~3名)の指導教員の配置を望みたい。 その理由として、単位履修科目担当教員以外に、担当「指導教員」が複数いれば、自己の担当指導教員以外の意見やアドバイスを受けられれば、修士論文の内容や修正・変更箇所等のいろいろな面で気づきとその他参考になる事が多いかと思われる。更に、テーマ設定や内容構成及び論文の記述方法等においても自己の指導教員以外の視点や論点及び指摘&アドバイス等を受けられれば、より「客観性」の面で多に参考になるかと思いました。

7. 大学院の施設・設備についてお尋ねいたします。

①大学院の研究や論文作成のための施設・設備に満足していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	満足している	3	30%
B	満足していない	5	50%
C	どちらでもない	1	10%
	無回答	1	10%

②満足していない理由は何ですか。(①でBと回答した方のみ)

地文M1	13号館の自習室が利用しづらい。席取りが禁止されているが、実際には図書や私物が置かれ、専有化されているため。13号館の共同研究室のパソコンの起動が遅い。10分程度かかるものもある。また、共同研究室と図書館個室のパソコンの時計を正確にしてほしい。
地文M1	歴史系の資料が13号館の6Fにない。
地文M2	13号館6階のパソコン室の起動が遅く、隙間時間で作業しようと思っても、起動に時間がかかるため、作業に費やせない。
地産M2	パソコン室が狭すぎるため、満足のいく利用ができない。
地産M2	現在の研究生に提供されている研究室は、図書館を除けば、タコ部屋(複数の院生机が並んでいる)状態であり、この状態であれば論文研究や作成の成果や良い結果に繋がらないと思われる。院生には、個室が望まれる。個室が厳しい様であれば、せめて「パーティション」によって、他人の雑音や話し声をささぎる工夫のデスクを用意して欲しいと強く要望したい。論文構成・テーマ設定及びその他もろもろの「論文作業」には、静かな環境と「集中」できる環境が必要不可欠である。いまどきタコ部屋状態の研究室などありません!

③講義や課題や論文の作成にあたり、大学の設備(研究室及び図書館等)を利用していますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	8	80%
B	たまに利用している	1	10%
C	全く利用していない	0	0%
	無回答	1	10%

「2015年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

④その他、大学院の施設・設備に関してご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。

地文M1	HP上で大学院は「一般社会人・有職者の入学を積極的に推進しています。」と銘打っており、全館23時閉館とはいかがなものかと思う。
地文M1	<ul style="list-style-type: none"> ・13号館の自習室が実際には専有されているので、逆に番号を振るなどして専有化して、他人に利用できなくしてほしい。席が安定しないのは、研究を進める際、非常に不便を感じる。席の専有化ができなければ、隣席との間に仕切りを設けてほしい。 ・13号館を24時間利用できるようにしてほしい。入館の際に学生証で身分を確認できるようにすれば、24時間利用は可能だと思う。琉大の大学院棟は24時間入退館が可能と聞いている。 ・図書館研究個室近くに、13号館自習室と同様な個人ロッカーを設置してほしい。そうすれば研究個室利用率も向上すると思う。利用する度に多くの文献を持ち運んで、研究個室を利用するのは難しいと思う。
地文M2	13号館6階のパソコン室の起動が遅く、隙間時間で作業しようと思っても、起動に時間がかかるため、作業に費やせない。
地文M2	図書館にある研究紀要、とりわけ沖国大で発行されている研究紀要は貸し出し用を作った方がいいと思います。
地産M1	できれば、新聞などが完備されているとうれしい。仮眠室などもあればうれしい。
地産M2	パソコン室の充実を図ってほしいです。特に図書館にあるような個人研究室の設置を要望します。
地産M2	図書館の個室の数に制限があるため、その個室が利用できない場合もあるため、その時間のロスを考えると、いつも利用しようとは思えない。 また、研究室に関しては、先に述べたとおりの環境ゆえ、入学してから一度も利用していません!!また、利用したいとも思えない!です。

8. 教育支援者(TA・SA)制度についてお尋ねいたします。

①あなたは、現在、教育支援者(TA・SA)として、学部授業のサポートを行っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	行っています	7	70%
B	行っていません	1	10%
C	過去に経験があります	1	10%
	無回答	1	10%

②M2以降も、教育支援者(TA・SA)を続けたいと思いますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	続けたい	1	10%
B	続けたくない	0	0%
C	どちらでもない	2	20%
	無回答	8	70%

③上記②において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地産M2	指導する立場の経験が学べるから。
------	------------------

④教育支援者(TA)経験が無い方へ質問です。教育支援者(TA)の経験をしてみたいですか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	してみたい	5	50%
B	してみたくない	1	10%
C	どちらでもない	1	10%
	無回答	3	30%

⑤上記④において、その回答を選んだ理由は何ですか。

地文M1	時間的余裕が持てない。
地文M1	このシステムのことがわかりません。
地産M2	教育支援の内容が分からないので、答えようがありません。

「2015年度 大学院教育研究の向上に関するアンケート」集計結果(大学院全体)

9. 本学に付置している研究所についてお尋ねします。

①本学にある4研究所を知っていますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	知っている	8	80%
B	知らない	1	10%
C	興味がない	0	0%
	無回答	1	10%

②本学の研究所の施設を利用したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく利用している	1	10%
B	たまに利用している	1	10%
C	全く利用していない	7	70%
	無回答	1	10%

③本学の研究所が主催する「研究会」などのイベントに参加したことがありますか。

項目	内容	延べ人数	割合
A	よく参加している	0	0%
B	たまに参加している	7	70%
C	全く参加していない	2	20%
	無回答	1	10%

10. その他、ご意見やご要望がございましたら、自由にご記入ください。(時間数、科目の種類など)

地文M1	HP上で大学院は「一般社会人・有職者の入学を積極的に推進しています。」と銘打っておいて全館23時閉館とはいかがなものかと思う。
地産M1	大学院の講義は、先生方に給料が入ってないと聞いたことがある。 教授達のやる気のためにも正当な報酬を支払うべきなのではないだろうか??
地産M2	①地域産業研究科の科目はマイクロ関連の授業が少ないので、もっと増やしてほしいです。授業数が少なく、選択肢が狭まれている。 ②大学院では、セメスター制度を謳っているが実際には通年科目が多く、年間のスケジュール調整がやりにくいです。(例えば、半年の休学などをしたい場合に単位の取得が不利になってしまう、登録した授業が合わない場合はセメスターであれば前期だけ通って、後期は登録しないで他の授業を登録するなど柔軟な通い方ができる等)授業は前期・後期に分けてセメスター制度をやって欲しいです。